

中村地区

第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

☆小さな輪を、大きな輪へ！～つながいの輪を広げよう～

地域交流の機会を広げるために・・・

【成果】

- ・親子の集いの場として、子育て広場（へいらくひよこクラブ・公園あそび“ふれんど”・ぽっかぽか広場）を3カ所で開設しました。
- ・「七夕フェスタ」を実施し、子どもから高齢者まで、幅広い世代の方が一緒になってイベントを盛り上げ、交流を深めました。
- ・「南いきいき中村地区の集い」では、地区の魅力や課題等について話し合い、高齢者同士の交流を深めました。
- ・地区社協講座「なかむらアカデミア」では、まち歩きを実施し、地域の「魅力の種」と「心配の種」を見つけました。また、「赤い羽根共同募金と使いみち」について学び、共同募金が地域の福祉活動を支えている大きな財源であることを再確認しました。



七夕フェスタ

【今後に向けて】

- ・在日外国人の方にも地域のイベントに参加してもらえるよう、周知方法を工夫します。
- ・サロンやイベント等を通して、日頃から住民同士の顔の見える関係づくりを行います。

地域活動を活性化するために・・・

【成果】

- ・地域住民に中村地区により関心をもってもらうため、地区社協だより「みどりと風と」で地域の様々な活動紹介を行うほか、福祉施設や公園などの紹介も行いました。
- ・若い世代の方にも情報発信するため、ホームページを開設し、地区社協広報紙と連動した情報発信に取り組みました。



みどりと風と

【今後に向けて】

- ・地域の福祉関係施設のイベント等も積極的に情報発信し、相互の協力関係をつくります。
- ・若い世代の担い手を増やし、ホームページの充実を図ります。

つなぐりの輪を広げるために・・・

【成果】

- ・地域の福祉関係施設や団体等との連絡会を通して、町内会と施設が繋がるきっかけとなり、相互理解を深めることができました。
- ・まち歩きを実施した際に、エリア内にある特別養護老人ホームの職員も参加し、地域の魅力や課題について共有しました。
- ・認知症キャラバンメイトの会を発足し、町内会館や小中学校などで認知症サポーター養成講座を開催して、認知症の理解を進めました。



認知症サポーター養成講座

【今後に向けて】

- ・地域の福祉関係施設や団体等と、日頃から顔の見える関係づくりを進めるとともに、災害時に助け合える関係をつくるため、平時から相互の連携協力関係をつくります。
- ・認知症サポーターを増やし、見守りの体制づくりに取り組みます。

災害時に支援が必要な人への援助ができるように・・・

【成果】

- ・福祉関係施設や団体との連絡会で、防災への取組状況について情報共有し、互いの連携について話し合いました。
- ・地区社協だより「みどりと風と」を活用し、いつとき避難場所の紹介など、防災に関する情報を住民にわかりやすく発信しました。
- ・まち歩きを実施し、災害時に心配な場所や避難経路の確認を行いました。



「なかむらアカデミア」まち歩き

【今後に向けて】

- ・地域全体で更なる防災意識を高めるために、関係機関と連携して防災の取り組みを進めます。
- ・災害時に要援護者を支援できるよう、障がい者が地域の防災訓練に参加し、日頃から助け合える関係をつくります。

第3期計画（平成28～32年度）

地域の特徴

（データ=平成26年9月末日現在）

地区の北側を流れる中村川沿いの低地とさらに南側の丘陵地からなります。丘陵地はどこも急勾配の道路ばかりです。

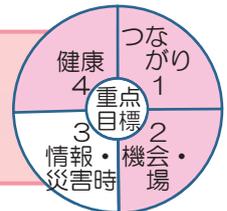
地区人口=約15,500人
 年少人口比率= 8.9%
 高齢人口比率=28.8%
 総世帯数=約8,600世帯
 平均世帯規模=約1.8人



小さな輪を大きな輪へ ～広げよう地域の和～

声かけ合い明るい地域づくりのために・・・

5年後の将来像：地域の様々な交流活動を通して、住民同士の顔の見える関係が築けている。

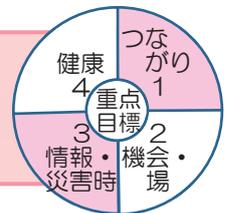


具体的な取組等

- ・ ちょこっとボランティアの担い手を育成し、支え合いの仕組みづくりに取り組みます。
- ・ 在日外国人の方にも地域の活動に参加してもらえるよう、ポスター作製を工夫するとともに、町内会等を通して個別にPRを行います。また、地域の活動に参加するだけでなく、担い手の一員となってもらい一緒に取り組みます。
- ・ 地域で気軽に集える場を充実させ、住民同士の交流を深め、顔の見える関係づくりを進めます。
- ・ サロンやイベント等の場を活用して、健康づくりの取り組みを進めます。

地域活動を活性化するために・・・

5年後の将来像：地域の情報を一元化して発信することで、各活動がつながりを持って取り組んでいる。

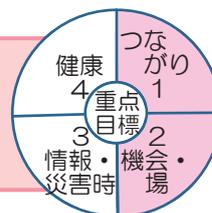


具体的な取組等

- ・ 地区社協ホームページを充実させるため、若い世代の担い手を育成します。
- ・ 地域の施設や団体のイベントを地区社協ホームページに掲載します。
- ・ 地域の福祉施設の紹介や自治会町内会活動のほか、地域で活動する団体等の活動を紹介し、広報活動を強化していきます。

地域の和を広げるために・・・

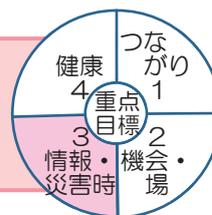
5年後の将来像：地域と地域にある福祉関係施設や団体同士の理解が深まり、連携した取り組みができています。

**具体的な取組等**

- ・地域の福祉関係施設や団体等との連絡会を開催し、日頃からの連携強化を進めます。
- ・地域のイベント等に施設の方を招待し、交流を深めます。
- ・町内会館や小中学校などで認知症サポーター養成講座を開催して、地域全体で認知症の更なる理解を深めるよう取り組みます。また、認知症の方が集える場づくりを進めます。

災害時に自助・共助の意識を高めるために・・・

5年後の将来像：自助・共助の意識が高められ、要援護者支援の取り組みができています。

**具体的な取組等**

- ・地域の福祉関係施設や団体等と、災害時の具体的な連携方法について検討を進めます。
- ・災害時要援護者支援事業について、住民にわかりやすく情報発信し、自助・共助の意識を高めます。
- ・地域の学校と一緒に防災訓練を実施します。
- ・障がい者や在日外国人の方に地域の防災訓練に参加してもらい、日頃から助け合える関係づくりを進めます。